

12月

今日の一言

6. 12. 12 校長 渕上 卓也



しあわせのバケツ



先週の金曜日、「じんけん集会」がありました。「人権」とは、「人は誰でも、生まれながら『幸せになる権利』をもっている。」ということです。各学年の出し物は、「優しさ」だったり「思いやり」だったり「友情」だったり「助け合い」だったり、子どもたち一人一人が思いをしっかりと発信していて、聴いている側も考えさせられるものでした。素晴らしかったです。でも、これからが大切です。発表したことを、聴いたことを実行できる

かどうかということです。実行してくれるものと信じています。

さて、渕上はこの人権集会で、4月に赴任した際に紹介した「しあわせのバケツ」(キャロル・マッククラウド作 デブッド・メッシング絵 TOブックス)の読み聞かせをしました。大園っ子は、集会の最後の方だったのに、よく聞いてくれました。この本の内容で一番伝えたかったのは、「いやな気持ちにさせたり、バカにしたり、意地悪なことをしたり・・・人のバケツを空っぽにしても、自分の幸せバケツはいっぱいにならないにならない！！」ということ。そして、「あいさつしたり、優しくしたり、感謝の気持ちを伝えたり・・・誰かのバケツを幸せでいっぱいになると、自分のバケツもいっぱいになる！！」ということ。このことは、心に残してほしいです。

校長先生から・・・「家族にも、友達にも、先生にも、近所の人にも、元気なあいさつを是非！！あなたもみんなも、しあわせのバケツがいっぱいになる。」「次の人のことを考えて、スリッパを並べてごらん！！あなたもみんなも、しあわせのバケツがいっぱいになる。」「人のバケツも自分のバケツも空っぽにしそうになったら、先生に相談してみてください！！助けてあげるから。」

<今日の一句>

渕上の

バケツは 子どもに

満たされる 卓也

